

●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会
日時 10月3日(日) 13:00~14:30
11月7日(日) 13:00~14:30
集合 野川公園自然観察センター前
申込 直接会場へ 参加費 無料
問合せ 0422-31-9033

●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会
日時 10月9日(土) 9:00~12:00
11月13日(土) 9:00~12:00
集合 野川公園自然観察センター前
申込 直接会場へ 参加費 無料
問合せ 0422-31-9033

●第64回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会
テーマ「秋の自然観察」(仮)
日時 10月16日(土) 10:00~12:00
事前に申込みが必要
参加費 300円
申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp
HP URL http://www.kansatsukai.net

編集後記

台風の影響で、雨が降り、やっと秋らしい気候になり、ホッとしています。約100年振りの暑い夏だったせいで、セミの姿も例年よりは少なく、彼岸花の開花も遅れ、スズメバチの活動が活発なようです。果物の収穫にも影響があることでしょう。(安達)

●シャツからエコ布ぞうり作り

主催 ごみ対策課
日時 10月21日(木) 13:00~15:45
場所 三鷹市リサイクル市民工房
対象 特になし
定員 10名(多数の場合は抽選) 無料
申込 往復はがきで10月13日(水)必着でごみ対策課へ
問合せ ごみ対策課 内線 2534

●山口ともさんによる廃品打楽器パフォーマンスコンサート

主催 環境対策課
日時 10月30日(土) 13:00 開場 13:30~15:00(予定)
場所 連雀コミュニティ・センター
定員 150名 無料
申込 当日会場にて午後0時30分から入場整理券を配付
問合せ 環境対策課 内線 2525

発行:みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)
連絡先:三鷹市環境対策課
電話 0422-45-1151 内線 2523・2524
E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp
本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

ボランティアが活動する三鷹の公園

三鷹市内には、井の頭公園、野川公園や武蔵野の森公園などの大きな都立の公園があります。都立野川公園では、約1000人のボランティアが自然観察園を中心に保全活動を行っています。

比較的小規模な市立の公園としては、大きい順に、37の都市公園、138の児童遊園、46の緑地などがあります。これらの維持管理は、市の職員、業者が定期的に行っていますが、公園の美化や保全活動には、多くのボランティアも活動しています。

平成13年から、「公園ボランティア団体」の登録が始まり、現在39団体、約450名が活動しています。その目的は、「美化活動を行い、良好な環境の保全及び創出に資すること」とされています。5人以上のメンバーがそろくと団体登録でき、清掃用具等が支給されます。

平成21年度に完成したLガーデン(中原3-9-22)は、地域の庭(コミュニティ・ガーデン)といわれる緑地です。20名ほどのボランティアが活動し、地域の憩いや交流の場になっています。

北野中央公園(北野3-6-45)は、元は市の苗圃(びょうほ)であったところですが、現在は木の名札がついた、果樹の多



地域の庭のひとつ Lガーデン



北野中央公園で活動するボランティアたち

い公園となっています。ここでは、緑のボランティア講座の修了生を中心に活動が行われています。(安達)

三鷹の大気汚染測定

三鷹市内の大気の汚染度はどの程度なのでしょう。大気汚染の原因とされる物質のうち、イオウ酸化物、チッソ酸化物などの大気濃度は、概して1970～80年代をピークに年々減少しており、環境基準値以下であることが、市の年次報告書などに記載されています。一方で、汚染物質のひとつであるオキシダント濃度はまだ基準値が達成されていません。

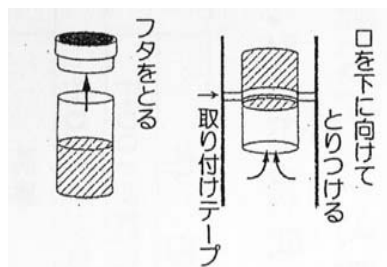
二酸化窒素NO₂

これらの物質のうち、チッソ酸化物は工場や家庭などからの化石燃料の燃焼によって生じ、そのうち約30%が自動車の排気ガスから発生するとされます。

ところで、人々に直接関与する生活空間は、高層マンションなどを別にすれば、地上数m以下の大気層といえます。大気汚染濃度は通常地上1.5mの高さで測定されます。この空間は平面的には極めて局所的なので、この局地点の測定数を増やすことが地域全体の汚染状況を知る上で貴重です。

市民グループのデータの共有化

1978年に「大気汚染測定運動東京連絡会」が発足し、以来「簡易カプセル法」によるNO₂測定(図)が、年2回(6月と12月)ずつ続き、全都で約200団体が参加、三鷹市内でも数団体の市民グループ



NO₂測定カプセル

がこれに参加しています。

みたか環境活動推進会議は三鷹市内の自然環境の現状を知るという目的で、今春、市内のこれらの団体に「市内のデータ共有化」を諮り、「みたか大気汚染マップ」をつくって、6月26日の「みたか環境フェスタ2010」に展示報告しました。データを提供した団体は、大沢住協環境部会、環境市民連、医療生協三鷹ブロック、3・3・6号線道路を考える会の4団体です。

このマップを見ると、道路沿線については市内の東西南北いずれも基準値0.06ppmに近い0.05ppm以上の高濃度の地点が多く、総じて濃度は幹線道路、一般道路、その他の順になっており、その他でも濃度は0.03ppm以上でした。

今年は春、黄砂が舞い、夏の猛暑のなか光化学スモッグ注意報が数度発令されました。三鷹の空が「きれいになる」のはまだ先のようなです。(山口)

大沢の里のちびっこ農業体験“稲刈り”

9月19日(日)午前、ほたるの里・三鷹村主催の親子ふれあいちびっこ農業体験“稲刈り”が行われました。市内でも数すくない大沢ほたるの里の田圃に、保護者とちびっこたち約90名と、第7中学校の生徒34名が集まり、6月に田植えをした稲の収穫をしました。植えてあったのはもち米でした。

「刈った株は、5、6株をまとめて、おいてください。怪我をしないように注意してください」との説明のあと、いっせいに田圃に入り、稲刈りをしました。

前日の18日(土)には、大沢台小学



大沢の里・三鷹村の稲刈り

校と羽沢小学校の5年生が稲刈りをしました。

10月には、収穫祭が行われ、このもち米で、餅つきが行われます。(安達)

三鷹のみち：中仙川遊歩道

中仙川遊歩道は、三鷹市中原の西側を北から南に向けて近幸橋辺りでカーブし西から南に、甲州街道まで住宅街の間を縫うように通っている遊歩道です。

この道は、中仙川を、昭和51年から、中原4丁目17番地から甲州街道に至るまでを、順次暗渠(あんきょ)にし、その上を遊歩道にしたものです。遊歩道に沿っては、花壇が作られ、季節ごとの植物が植えられています。

中原4丁目17番地から始まり住宅街を通り、中仙川通りを横断すると、つつじヶ丘京王住宅の住宅街に入ります、そこは、南側が高い崖になり、その下がこの道になっているせいか、夏は涼しく、つつじヶ丘の駅に向かう人が多く通る道になっています。



中仙川遊歩道

この地域の住民は、道をきれいにしたいと、有志で花壇に花を植えたり、掃き掃除をする人などがいます。

このような地域の人びとの思いで、中仙川遊歩道は、気持ちよく通れる道になっています。(森)